

子育てスペースの「使い方と運営のあり方について」意見交換のまとめ

誰もが気軽に使える場所としての活用

前提

誰もが自由に使える場所として活用

イベントなどで活用については、あくまで「子育て」という目的に沿うもの

滞在時間のイメージは1～2時間程度（それ以上長くなると、子どもから目をはなしたり、常連さんのたまり場になってしまうことも）

子育てスペースでの「短時間託児」や「子どもの見守り」について

「理想」を検討すると

館利用者のお子さんの短時間託児・見守りの実施

- ・ 子どもを見守る専門スタッフを1名配置
- ・ スタッフは保育士が望ましい
- ・ 子育てボランティアを育成・登録し、短時間託児や見守りを実施

実現は厳しいのでは

完全な安全を実現できるか

- ・ 専門スタッフのコスト負担は大きいのでは
- ・ 保育士でも1名では完全な安全の実現は困難
- ・ ボランティアスタッフもすべてを見守るのは困難

まず、現実的に検討

完全な安全はフリースペースだからこそ困難
館としての託児運営・管理は厳しいと思う
大原則として、同伴者（親）が子どもを見守る
附帯として、定期的に職員が全体の状況に目を配る
イベント開催時の短時間託児は主催者が必要に応じ検討・実施する
万一の事故を考え、カメラ設置が必要では（防犯と事故状況確認のため）

子育てスペースを活用したイベントの開催について

ベースになる月1企画

連合町内会と行政の支援による定期的な企画が実現可能かも

原則フリースペースなので「月1回」程度にとどめる

開催のイメージ

- ・ 子育てサロンを定期的開催
- ・ 事前に決定し、広く告知する、色いろな人にスペースを使ってもらえるきっかけ
- ・ イベントを知らず、フリー利用のためきた人も同じように参加可能にする
- ・ 万一人が溢れるほど来た場合にどうするかは調整が必要

具体の企画イメージ

- ・ 広く告知し地域の子育てサークルなどによる「子育て相談」
- ・ 子育てスペースの可動本棚を移動して、隣のスペースと一体化。「赤ちゃん体操」などを広々と実施。
- ・ 隣のスペースと一体化した利用の際は、ブルーシートなどを活用して子育てスペース同様、子どもが裸足で歩けるようにする。

希望者による単発企画

「子育て」に関するイベントであれば単発企画による占有利用も実施する

原則フリースペースなので「月 回、週 回」など開催回数上限を定める

開催のイメージ

- ・ あくまで、子育てに関すること、不特定多数を対象とする企画に限定
- ・ 商業的な利用は不可
- ・ 地域の子育てサークルなどが実施
- ・ サークルの会議など内部・身内的な企画は不可
- ・ 事前申込（2週間位前まで？）が必須。許可制とする。
- ・ 必ず告知を行うことが前提
- ・ 単発企画の開催は「月 回、週 回」など開催回数上限を定める

でないと単なる無料貸室になる